

海の事故情報（七管区）【速報値】(11月7日～11月13日)

令和4年11月17日

船の事故	発生日	発生県	船舶種類	事故形態
	11月7日(月)	福岡県	プレジャーボート	運航不能
	11月12日(土)	長崎県	プレジャーボート	運航不能
	11月12日(土)	福岡県	遊漁船	運航不能
	11月12日(土)	福岡県	プレジャーボート	運航不能
人の事故	発生日	発生県	事故区分	事故内容
	11月8日(火)	福岡県	マリレ以外の海浜事故	溺水
	11月9日(水)	長崎県	船舶海難によらない乗船者の人身海難	海中転落
	11月11日(金)	長崎県	マリレに伴う海浜事故	負傷
	11月13日(日)	福岡県	マリレ以外の海浜事故	海中転落

海中転落2件発生 冬の海中転落は危険度UP！

【問合せ先】
第七管区海上保安本部交通部 安全対策課長 古場
安全対策調整官 川部
TEL：093-321-2931（内線2640）

【事事故例】

令和4年11月9日深夜、事故者は飲食店で飲酒後、船（総トン数100t級）で寝泊まりするためタクシーで係留地まで移動し、同船に乗船するためタラップに足をかけた際、足を踏み外して海中転落した。事故者は自ら乗車したタクシー会社と119番に救助要請を実施、自力では陸に上がることが出来ず、船体にしがみついていたところ、タクシードライバー及び付近にいた漁師に救助され、救急隊により病院に搬送、低体温症と診断された。

・冬の海は危険

冬の海の最低海水温度は10度以下（水風呂で17度前後）となる場合があり、この時期に海中転落した場合、低体温症（体温が35度以下）となるリスクが大幅に上昇します。低体温症の症状として、最初に各種身体的不調（震えが止まらない、思考力・判断力の低下）が発症、海中転落から約30～60分間で意識不明となり、1～3時間で命の危険があるとされており、速やかな救助が必要となります。

海水温と生存時間の目安

海水温度	意識不明に至る時間	予想生存時間
0度	15分以内	15～45分間
0～5度	15～30分	30～90分間
5～10度	30～60分	1～3時間
10～15度	1～2時間	1～6時間
15～20度	2～7時間	2～40時間
20～25度	2～12時間	3時間以上

・もしも海中転落してしまったら

水中では、大気中よりも25倍も早く体温が奪われ、更に身体を動かすと体温低下が促進します。また、頭部は放熱の速度が速いため、救助を待つ間、右の図のような体温を逃がさない姿勢（HELP姿勢）を取ることが推奨されていますが、救命胴衣を着用していなければ浮力が確保されず姿勢の確保が困難となります。

・HELP姿勢
(Heat Escape Lessening Posture
: 体熱放散減少姿勢)

Help me !!



自分の命を守る3つのポイント

- ・ライフジャケットの常時着用 ～体力(体温)温存、浮力の確保～
動かずに浮くことができ、頭部の水没を防ぐことができます。
- ・携帯電話等の連絡手段の確保～速やかな救命要請～
防水タイプや防水パックに入れた携帯電話を携行し、速やかに救助要請をしましょう。
- ・118番の有効活用～海のもしもは118番～
海で事故に遭った場合は、海上保安庁緊急通報連絡先「118」番に通報しましょう。

